

地域包括支援センター

- ・日頃より関係機関とネットワークを作り、連携できるようにしておく。
- ・災害時自分の役割がわかるか考え、対応ができるようにする。

(対策)
わかみ野地域を理解し、災害時要援護者の所在、支援者、避難経路、場所などの把握。

(見込策)
わかみ野圏域の「災害時要援護ネットワークマップ」が作成できると良いと思います。

- ・独居高齢者や高齢世帯の連絡先の洗い出しを行い、紙ベースで残しておく。

個人として、

- ・担当利用者の安否確認、災害台帳を保持する民生委員の報告
- ・本人に連絡する能力がない場合、代行に親族等へ連絡する。
- ・避難所での精神的フォロー

〈事業所として〉

- ・包括と市役所に災害発生時の対応について確認しておく。
- ・担当エリアの避難所の位置や連絡先番号を把握し、一覧表や簡易マップを作成しておく。
- ・避難所ごとの台帳を作成し、これらを使えば安否確認
- ・パソコンが使えなくなることを想定し、紙ベースで緊急連絡先をつらねておく
- ・認定を受けているがサービス未利用の人、未申請などの人の安否確認

Q) 災害時、高齢者の体調不良に対して、包括や居宅の支援だけでは不足の恐れはないか？

居宅部会

ケアマネ事業所として

- ・ 独居高齢者の情報を、優先順位をつけてツタヒングしておき、6ヶ月に1度は
ヤ直問の独居等、見直しをおこなう。(H25年度)

(ケアマネの付帯サービス)

- ・ 食料品等の備蓄物品を贈渡し、備えておく予定 (H25年度)
- ・ さらに、ホーム事業所では、台風前や、大雪の日に独居の方の住所を
訪問する時がある。

個人として、シミュレーションする事で色々な場面で対応できる順応性を身につけていく

災害時に必要な情報を知り、災害時に対応できるように

災害時チェック表を作っている。(現状作っているのが、うまく活用
できそうにないので、もう一度見直しをしていきたいと考えています。

定期的に災害時に対応が必要ない優先順位を見直す。

特養へ緊急避難された人への支援。

居宅部会

- ・ 備蓄の見直し
- ・ 事業所のマニュアル見直し
- ・ 輸送路が絶たれた場合の対応

・ 事業所マニュアル徹底

ご利用者様、不在のため、事業所としての活動は
まだ未定ですが、おこないます。よろしくお願いします。

通所部会

当事業所は零細規模の事業所にて、近隣の住民の皆様には役立つよう事は
 何れでもよいと思いつつも、最悪のケースを想定した時、やはり、通所サービス提供中
 の災害を考えました。そこで、防災用品や食品の確保、1~2日の宿泊を想定し、
 最低限の備蓄は用意しました。もう一つ、利用者様の服用されている薬に
 ついて、別紙表のような呼びかけを、ご家族にし、おでこに印協力いただける
 準備はしています。

又、もし薬が不足した時に、最近の薬剤情報があいは、近隣の薬局で臨時
 処方してもらえるシステムができればいいのではないかと思います。

別紙添付

ご利用者様各位

平成 25 年 2 月 20 日

ご協力をお願い

平素は「すゑの愉」をご利用いただき誠に有難うございます。

さて、各務原市の介護保険サービス事業者協議会では、東日本大震災
 の 3. 11 以降、全市あげて有事の際に我々が出来ることを皆で考える会
 を重ねています。

そこで「すゑの愉」として考えなければならない事は何かを模索し、
 とりあえずできる事として、デイサービス利用中に大震災が発生した時
 を想定し、ライフラインから道路まで寸断し 1 日~2 日はデイサービス
 か近くの避難所などに泊まっていただくケースを想定し、防災用品や
 食品の準備などを行っています。

そこで皆さんの今飲んでおられる薬が緊急必要になってくると考え、
 今お手持ちの薬を 2 日分ほどデイでお預かりし、古くならないように、
 1 ヶ月更新しながら保管させていただけたらと考えています。

ご了解していただけたらノートバックに入れていただけるとありが
 たく思います。また、常に最新の薬剤情報もお借りしたいと思ひます。

ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

デイサービス「すゑの愉」

管理者 森 悦子

通所部会

当法人事業所は通所の障がい者施設です。(知的、身体、精神、発達障がい)
 対応

自閉症、発達障がいの方の対応もできず。3. 11 の時は、
 自閉症の親子さんや、体育館や他者の一帯は入りこむ
 ことが、車の中で暮らしたつもりです。

避難所としての場所提供

備蓄の見直し

近所との連携

5 月に消防署による災害による危険会を実施します。

それにより、今後施設に必要事項を聞いて

防災訓練の実施をしていきたい

の個人としては、災害が起こる可能性が、すぐ身近かにある事を
 常に意識しておき、有事の際に、パニックにならない様に。1 次避難所
 の把握等

の事業所としては、同じ意識を持った職員を増やし、当事業所は
 地域の受け皿になる可能性が高いが、何をしないといけないのか、
 どういった事ができるのか、という意識を職員全体が共有で
 きる様に、施設会議の場で話し合っていくようにしたい

通所部会

- ・家族様と緊急時の送り先、連絡先を話し合う
- ・備蓄と見直し、整理する
- ・事業所、周辺等に住んでおられるお叱り暮らしへの支援
- ・社内で災害時の対応を話し合う
- ・災害時の行動を確認する
- ・備蓄について考える

- ・施設職員間での連絡網整備と役割決め。(出来る事、やる事)
- ・盲目の方や独居の方のリストアップ
- ・施設での飯料、食料の備蓄見直しと石富保。現状は1人分にも満たない
- ・車両は最大、2台は提供出来ます。

・別の方向ですが、各務原市は公園整備が進んでいる為、これらの場所が有効活用出来ないかとも思いました。
(テント等を張出して、数日間の仮設住居としての利用等)

通所部会

災害時マニュアルの見直し。
災害対策に関する考え方を根本的に見直す。

避難経路とマニュアルの再確認
独居の方の仮泊と確認。(避難施設
避難経路など)

- ・地域で動けない方の避難所への移送
(福祉車両の提供)

- 訪問介護としてヘルパーの利用
利用者に対して「お時は どうやら寒い/涼しいです。」
- 一般人に向けて事例を交えての検討していく機会を
作りだしている
- 地域ごとの様子を取り組みがなされている。理事ヘルパーに聞け
たりしています。
(市内で自治会別の災害時の対応の会という所があるが教習してほしい。
例. 藤原の前回報答で花田民生委員の事例)

↑これは、訪問介護、通所介護(定員10名)です。

1. 日用品の備蓄

- { 蓄便袋、凝固剤
- { エンビ袋
- { トイレトパーハン、ウエットティッシュ
- 紙ハンカチ、ハンカチ
- 救急セット(1ヶ所に備えて)

最低のラインまで訂
められた。今後、
序々に必要物資を
揃えていきます。

- 2. 食料品の備蓄 (缶詰ハン、水)
- 3. 交通手段としての自転車確保

訪問部会

安全確認が必要な利用者の選定

↓
対象者と関わりのあるサービスや団体との連絡

↓
対象者に対する援助方法

上記内容と事業所内で検討する。

備蓄を見直しながら 個人々々でも

できる事を、今後見直していく。

ヘルパーの研修会において、災害時の想定訓練を
連絡体制の確認や、ヘルパーの行動の優先順位を考慮
移動手段なども把握できるようにする。

訪問部会

コ-プとして、救援物資の輸送も行い、

福祉用具より、紙おむつ提供

居宅から、業務車1台、災害時活動用に使用。

訪問は、4ヶ月前に地域で、手伝いも行い、連絡を待つ
事業所からの

・ 医師会と連携して医療援助を行う

第2回までの会議後

- ・ 防災担当を決め活動をする
 - ・ 市のマップに利用者宅、避難所を印付け (他病院等も色分け)
 - ・ 利用者用『緊急支援カード』作成準備
 - ・ 備品の購入
- 行いました

○ 避難所での支援 (NPOと協力)

- ・来年度から備蓄を常時ストックする。
- ・特養入居者・ショート利用者の氏名・年齢・既往経歴・股栗情報等の個人情報を記載したカードを作成する。
- ・災害時の職員への連絡調整方法の検討。

効率よく伝達できる連絡網の見直し、備蓄の見直し、各職員の意識改革(?)等：これまで学ばせていたことにこたえをさせるよう、職員への周知を促している。4月の施設研修時に報告と併せて勉強会を可とする。

当苑は社会福祉法人であり特養・デイ・居宅・地域包括を有する総合施設であるのでできる限り地域のみな様の力になり得るよう施設内で「何が出来るか」と検討している。

地域について知り、自分らの出来る事を見つけていきたい。

- ・2フロアの見直し。
- ・備蓄の見直し

移送車の確保など

施設部会

担当利用者からの自宅からの避難経路や近隣の方で助けを下さる方がいるか…
等を確認する。また高齢世帯で、自分達が避難するのが困難な方について、対応
ケアマネとしての関わり方を検討する。

マニュアルの石確言認と職員への伝達。

緊急連絡系図で、^{取組の}応援要請をする場合、最後の取組員まで、
速やかに連絡が付くのか、訓練を実施する

- 自施設のBCP策定と訓練の実施。
- 自施設の災害時介護支援チームを結成し、訓練していく。
- 地域を知り、地域互助型の体制づくり
- 事業所の災害時マニュアルの見直し、徹底（法人全体と各事業所）
- 備蓄の見直し（食品・オムツ・日用品）
- 緊急連絡系図の再石確言認と緊急時にどのくらい出勤出来るかの把握
（徒歩であればどのくらいかかってくるのか
自宅の状況も含め出動の心算が出来ると）
- 地域の避難場所をスタッフに周知する
（介護士も含めて）